



# CIVIC NEWS

府中市議会議員 須山たかし

【発行】市民フォーラム 府中市議会報告  
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24  
シビック・ニュース 2014/10/15 Vol.13

## 平成26年府中市議会9月議会終了。

2014年8月31日～9月29日までの29日間、平成26年府中市議会第3回定例会が開催されました。今議会は平成25年度一般会計の決算審議が行われました。私たちの税金がどの様に使われたのか、議会としてチェックをしています。

### 平成25年度一般会計決算

(須山たかし総括質疑より抜粋)

Q. 平成25年度は第5次総合計画後期基本計画の最終年であり、第6次総合計画につながる決算案であるが、府中市の財政課題は？

A. 歳入では、根幹となる市税収入で、前年度比約21億6千万円、4.6%増。経常収支比率は4.1%増の85.8%(目標は80%台)となった。しかし、主な増収要因である法人市民税の増収は一時的な収入であると捉えている。歳出については少子高齢化に対する社会保障経費等の経常的経費の増加や既存の公共施設の老朽化対策や府中駅南口駅前再開発等の大規模な投資的事業への支出の増加が見込まれる。よって、今後も引き続き収支のバランスに配慮しつつ、健全財政の維持していく必要がある。

Q. 高齢社会における医療費増において、「健康ふちゅう21」においてヘルスプロモーションを掲げてきたが、評価と課題は？

A. ヘルスプロモーション(一人一人が健康をコントロールし改善できるようになるプロセス)を掲げてきた。平成16年度の調査から平成25年度調査において主体的に健康づくりに励む市民が増えている。心の健康づくりを重視すること、ライフステージに応じた健診の受診率の向上などの課題がある。平成27年度からの「第2次健康ふちゅう21」では個人の心身の健康の維持・増進だけでなく、市民同士のつながりにより、人が元気になるまちづくりを推進していく。

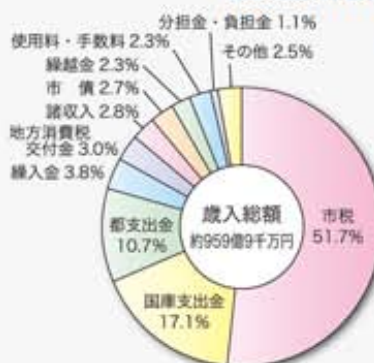
Q. 事務事業点検に関して、3年間の最終年であったが、その結果と評価は？いくら削減があったか。

A.

	点検結果	市の方針
不要/廃止	6	4
抜本的見直し、又は再検討・見送る	33	6
国・都・広域で実施	0	0
要改善	76	100
拡充を含む現行通り	—	10

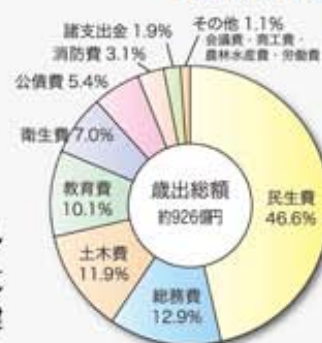
削減額 2億6059万5千円  
増加額 4219万8千円  
効果額 3億0279万3千円

【歳入決算額詳細と構成比率】



歳入	
市税	¥49,620,848,129
国庫支出金	¥16,371,873,008
都支出金	¥10,239,845,174
繰入金	¥3,673,254,518
地方消費税交付金	¥2,832,813,000
雑収入	¥2,693,562,885
市債	¥2,664,500,000
繰越金	¥2,204,888,570
使用料及び手数料	¥2,204,475,732
分担金及び負担金	¥1,010,220,125
その他	¥2,421,090,139
<b>総額</b>	<b>¥95,937,371,280</b>

【歳出決算額詳細と構成比率】



歳出	
民生費	¥43,173,700,160
総務費	¥11,985,409,243
土木費	¥10,985,049,664
教育費	¥9,331,734,310
衛生費	¥6,479,521,995
公債費	¥5,022,479,179
消防費	¥2,871,978,460
諸支出金	¥1,709,600,000
会議費	¥510,874,957
商工費	¥369,711,569
農林水産費	¥92,550,680
労働費	¥74,070,731
<b>総額</b>	<b>¥92,606,680,948</b>

「市民協働」を通して全体を質問したが、財政的見地から「市民協働」を進めるのではなく、市民一人一人が主体的にこのまちを創ることにより、一人一人が幸せになることが第一義である「市民協働」を進めて頂きたいという要望をし、市民フォーラムは平成25年度一般会計決算案に賛成致しました。

## 基地跡地対策特別委員会

前定例会で報告にあった東京都による府中基地跡地留保地利用意向の照会に関して、8月1日付けで、教育庁と警視庁の2部署から利用意向を示す答申があったが、どちらも未定である。府中市としては、今回の回答の内容も参考にして、改めて、利用計画の策定に向け、検討に入りたいと考えている。との報告がありました。

## 陳情

- 「集団的自衛権講師容認の閣議決定撤回の意見書」提出を求める陳情 →市民フォーラムは賛成しましたが、反対多数で不採択となりました。
- 成年後見人等に対する報酬助成に関する陳情 →全会一致採択

## 一般質問 男女共同参画に関して

今年6月に東京都議会で起きた女性蔑視発言。2020年に東京オリンピック開催予定であるにもかかわらず、東京、日本の人権や差別に関する意識の低さ、また根深さが露呈をした。差別の意識がなくなり、真の男女共同参画社会を目指すため、質問しました。

Q. 男女共同参画への府中市の方針は？

A. 性別にかかわらず、職場・地域・家庭等の社会のあらゆる場に平等で、一人一人の個性や能力を十分に発揮しながら自分らしく生きることが出来る男女共同参画社会の実現を目指し、昭和61年に府中市婦人行動計画を策定以来、4次にわたって行動計画を策定。現在、平成27年度を初年度とする第5次府中市男女共同参画計画の策定作業を進めている。

Q. 男女共同参画社会ではワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進が必要だが、現状は？

A. 第4次府中市男女共同参画計画において、仕事と生活の調和を図るため、労働相談や啓発活動の充実、長時間労働は正の啓発、国や東京都、市内労働関係機関との連携強化などの事業項目を掲げ、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組んでいるが、現状は必ずしも実現できていない。

Q. 仕事も家庭も全て完璧にこなす一部のスーパーウーマンではなく、普通の女性がキャリアを諦めない、「働くことは当たり前」という考えの下に、女性が働いていく中で子供を産み育てていく、一貫したキャリア教育が必要だが、どの様な施策があるか？

A. 女性センター等において、全ての男性・女性がお互いの健康と権利を尊重し合いながら生活していくためのリプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）に係るセミナー、研修やイベントを通じて性差を知り、理解を進めるための啓発事業を行っている。

## 要望

第4次府中市男女共同参画計画や現推進懇談会においても非常に活発な議論がされているが、市民の意識はまだまだ足りないのではないかと。男女共同参画を進めるには、ワーク・ライフ・バランスが必要であり、ワーク・ライフ・バランスが進むと、生活の豊かさ、クオリティ・オブ・ライフにつながる。女性だけでなく男性も、一人一人が輝く社会にするために男女共同参画を進めて頂きたい。



## 府中市議会議員 須山たかし プロフィール

1980（昭和55）年11月6日生まれ。  
府中市晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾一期生。  
民間の特許事務所に3年半勤めた後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。  
蓮舫（れんほう）参議院議員の秘書を務めた後、2011年府中市議会議員に初当選（52940票）。  
基地跡地対策特別委員会委員長 文教委員会委員  
市民フォーラム所属

ご意見・ご要望など  
ご連絡下さい

府中市議会議員

須山たかし

Tel 042-307-8309  
mail [suyama1980@gmail.com](mailto:suyama1980@gmail.com)  
HP <http://suyamatakashi.jp>  
blog <http://ameblo.jp/suyamatakashi/>  
twitter [http://twitter.com/suyama\\_takashi/](http://twitter.com/suyama_takashi/)  
facebook <http://www.facebook.com/suyamatakashi/>



# CIVIC NEWS

府中市議会議員 須山たかし

【発行】市民フォーラム 府中市議会報告  
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24  
シビック・ニュース 2014/10/15 Vol.13

## 平成26年府中市議会9月議会終了。

2014年8月31日～9月29日までの29日間、平成26年府中市議会第3回定例会が開催されました。今議会は平成25年度一般会計の決算審議が行われました。私たちの税金がどの様に使われたのか、議会としてチェックをしています。

### 平成25年度一般会計決算

(須山たかし総括質疑より抜粋)

Q. 平成25年度は第5次総合計画後期基本計画の最終年であり、第6次総合計画につながる決算案であるが、府中市の財政課題は？

A. 歳入では、根幹となる市税収入で、前年度比約21億6千万円、4.6%増。経常収支比率は4.1%増の85.8%(目標は80%台)となった。しかし、主な増収要因である法人市民税の増収は一時的な収入であると捉えている。歳出については少子高齢化に対する社会保障経費等の経常的経費の増加や既存の公共施設の老朽化対策や府中駅南口駅前再開発等の大規模な投資的事業への支出の増加が見込まれる。よって、今後も引き続き収支のバランスに配慮しつつ、健全財政の維持していく必要がある。

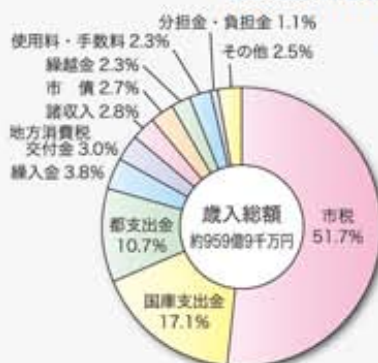
Q. 高齢社会における医療費増において、「健康ふちゅう21」においてヘルスプロモーションを掲げてきたが、評価と課題は？

A. ヘルスプロモーション(一人一人が健康をコントロールし改善できるようになるプロセス)を掲げてきた。平成16年度の調査から平成25年度調査において主体的に健康づくりに励む市民が増えている。心の健康づくりを重視すること、ライフステージに応じた健診の受診率の向上などの課題がある。平成27年度からの「第2次健康ふちゅう21」では個人の心身の健康の維持・増進だけでなく、市民同士のつながりにより、人が元気になるまちづくりを推進していく。

Q. 事務事業点検に関して、3年間の最終年であったが、その結果と評価は？いくら削減があったか。

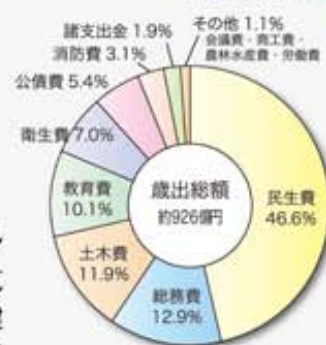
A.	点検結果	市の方針	削減額	増加額	効果額
不要/廃止	6	4	2億6059万5千円		
抜本的見直し、又は再検討・見送る	33	6		4219万8千円	
国・都・広域で実施	0	0			3億0279万3千円
要改善	76	100			
拡充を含む現行通り	—	10			

【歳入決算額詳細と構成比率】



歳入	
市税	¥49,620,848,129
国庫支出金	¥16,371,873,008
都支出金	¥10,239,845,174
繰入金	¥3,673,254,518
地方消費税交付金	¥2,832,813,000
雑収入	¥2,693,562,885
市債	¥2,664,500,000
繰越金	¥2,204,888,570
使用料及び手数料	¥2,204,475,732
分担金及び負担金	¥1,010,220,125
その他	¥2,421,090,139
<b>総額</b>	<b>¥95,937,371,280</b>

【歳出決算額詳細と構成比率】



歳出	
民生費	¥43,173,700,160
総務費	¥11,985,409,243
土木費	¥10,985,049,664
教育費	¥9,331,734,310
衛生費	¥6,479,521,995
公債費	¥5,022,479,179
消防費	¥2,871,978,460
諸支出金	¥1,709,600,000
会議費	¥510,874,957
商工費	¥369,711,569
農林水産費	¥92,550,680
労働費	¥74,070,731
<b>総額</b>	<b>¥92,606,680,948</b>

「市民協働」を通して全体を質問したが、財政的見地から「市民協働」を進めるのではなく、市民一人一人が主体的にこのまちを創ることにより、一人一人が幸せになることが第一義である「市民協働」を進めて頂きたいという要望をし、市民フォーラムは平成25年度一般会計決算案に賛成致しました。